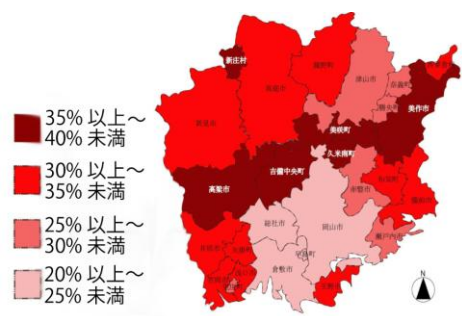


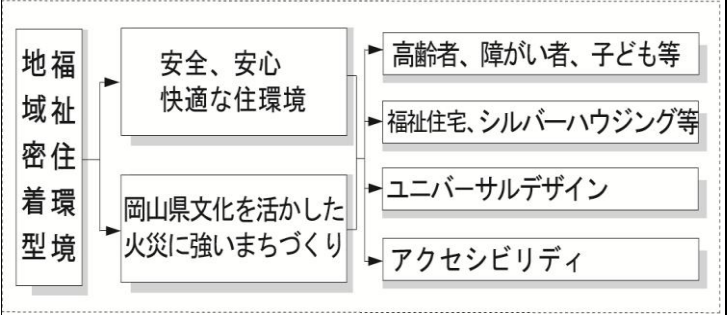
申請者	学科名	デザイン工学科	職名	助教	氏名	朴 貞淑	印
調査研究課題	高齢者や障がい者に配慮した地域密着型福祉住環境に関する研究						
交付決定額	300千円						
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担		
	代表						
	分担者						
調査研究実績の概要	<p>日本は少子・高齢社会を迎えており、高齢化率が現在25%、4人に1人が65歳以上の高齢者（2013年、総務省）である。岡山県の高齢化率は26.2%（2013年）である。このような急速な人口構成の変化、社会における生活環境が大きな転換期を迎えている。日本人の平均寿命は、男性79.59歳、女性86.35歳として、65歳以上の高齢者は3,186万人（2013年、厚生労働省）である。</p> <p>高齢者や障がい者が安全、安心して暮らすことのできる地域密着型福祉住環境の構築は、極めて重要な意味を持つ。</p> <p>地域密着型福祉住環境は、地域住民を主体として、産官学民の協働による地域コミュニティを形成することによって、地域に密着した生活の継続性やケアの連続性を保つ事ができる。高齢者や障がい者が地域に暮らし続けられること、ライフスタイルや将来のライフステージの変化に対応出来る融合型地域福祉住環境が必要不可欠となる。</p> <p>本研究は、高齢化・過疎化が進行する岡山県の状況を踏まえて、地域を構成する各セクターとの関わりに着目し、住み慣れた地域で暮らし続けるためには何が必要なのか、高齢者や障がい者の自立がはかれる環境とは何か、災害に強い地域づくり、ユニバーサルデザイン、適切なバリアフリー、アクセシビリティなど、地域に密着した住民参加型地域づくりのあり方について調査及び提案することを目的とした。</p>						



岡山県における高齢化率

高齢・過疎化が進行する岡山県の高齢者の住環境を中心に調査を行い、その結果を踏まえて地域社会における福祉住環境について社会的背景との関わりから総合的に検討を行った。

具体的に、高齢者や障がい者の福祉住環境を中心にハード面及びソフト面の両方から検討し、地域に密着した福祉住環境について次の3分野の調査研究を行った。



調査研究計画の概要

(1) 高齢者が生活主体として、地域で住み続けられる福祉住環境について、

岡山県における高齢者の在宅福祉支援の現状を把握するために調査を行った。高齢者の在宅福祉支援サービスや生きがいづくり、自立支援サービス、施設サービスなどを中心に岡山市町村の27カ所、各20項目について調査を行った(表1)。岡山県における高齢者の在宅福祉支援は、導入されつつある。

表1 岡山県における高齢者の在宅福祉支援

項目	① 地域包括支援センター	② 緊急通報システム	③ 日常生活用具の給付	④ 介護支援金等の支給	⑤ 高齢者住宅改修助成	⑥ 入浴サービス	⑦ 高齢者福祉給付金の支給	⑧ 自立支援サービスの利用	⑨ 給食・配食サービス	⑩ 敬老事業	⑪ 老人クラブ	⑫ 高齢者のスポーツ	⑬ シルバー人材センター	⑭ コミュニティタクシー・バス	⑮ 施設サービス	⑯ マッサージ助成	⑰ ねたきり高齢者等介護	⑱ もの忘れチェックシステム	⑲ 調理サービス料の助成
岡山市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
倉敷市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
玉野市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
備前市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
瀬戸内市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
赤松市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
笠岡市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
井原市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高梁市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
真庭市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
美作市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
和気町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
早島町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
津島町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
吉備中央町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
吉備野町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
津久井町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
久米南町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
久米北町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
美郷町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
瀬戸町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新見市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新井町	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新井村	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

(2) 高齢者や障がい者などの移動におけるユニバーサルデザイン、適切なバリアフリー、目的地へのアクセシビリティについて、

岡山県におけるJR駅及び駅周辺地域を取り上げて、ハード、ソフトの両面から実態を把握した。調査項目のハード面は、経路、スロープ状況、エレベーター、有効幅、段差、ドア、階段、路面状況、手すり、トイレ等のバリアフリー化である。ソフト面は案内サイン、照明、地域のネットワーク等の支援サービス等である。高齢者や障がい者などをはじめ、現場調査を行った結果、問題点を把握した。ラッシュアワーの混む時間帯の改札口動線の流れを考慮してほしい。点字ブロック整備については、点字ブロック上にモノが置いてある。また、案内サインの分かりやすさ、文字の大きさ、車いす対応などについて検討が必要であった。バリアフリー及びユニバーサルデザインの取組状況はまだ、整備環境が不十分であることが分かった。

(3) 内外の事例研究について、

大阪市、東京都における高齢者、障がい者における福祉住環境の調査を行った。海外(韓国)については、世界でも類を見ないほど速いスピード(高齢化率14%→20%の所要年数は韓国8年、日本12年)で高齢化が進んでいる韓国を事例として調査を行った。進み行く少子高齢社会は、国外・国内共通の課題となっている。岡山県も年々高齢化が進んでいる。一人暮らし高齢者や高齢者夫婦のみ世帯が年々増加する中で、空き地・空き家など、過疎・少子高齢化、核家族化の影響が現れている。今後、継続的に調査・分析を進め、地域性を踏まえた居住性、快適性、持続可能な密着型福祉住環境のあり方について検討する必要がある。

調査研究実績の概要

成果資料目録

本研究については、今後、論文にまとめる予定である。